

第 4 回 定 例 会

# 教 育 行 政 報 告

令 和 3 年 1 1 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会



令和3年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

## 1 小中一貫教育全国サミット in 北広島について

まず始めに、小中一貫教育全国サミット in 北広島についてですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、デジタル開催としたところではありますが、11月1日からの北海道全域において行動制限の一部緩和を受け、11月12日の全体会につきましては、芸術文化ホールからインターネットでライブ配信するとともに、市民に限定し有観客で開催したところでもあります。

また、公開授業や分科会等につきましては、インターネットを活用し、事前に収録したものを、11月12日から12月12日までの間、申込者限定でオンデマンド配信しているところでもあります。

北海道で初めての開催であり、デジタル開催となった本サミットではありますが、全国から1,000名を超える視聴参加の申し込みがあり、本市の取組をはじめ他地域における先進事例やテーマ別の研究協議などを全国に発信したところでもあります。

今回の開催を一つのステップとして、本市の小中一貫教育をより充実させ、実践の中で一般化してまいりたいと考えているところでもあります。

## 2 官民連携スポーツ事業「ローソン夢の教室」について

次に、官民連携スポーツ事業「ローソン夢の教室」についてであります  
が、10月13日、14日の2日間、東部中学校2年生を対象に、さまざま  
なアスリートが夢をもつことの大切さを伝える授業を実施したところ  
であります。

当日はICTを活用したオンライン形式とし、講師として、武術太極拳  
元全日本チャンピオンの市来崎大祐いちきざきだいすけさんと元プロフットサル選手の  
梅田翼うめだつばささんをお迎えし、キャリア教育の一環として、夢をもつことや夢  
に向かって努力する大切さについて学びを深めたところあります。

## 3 障がい児者の学び・体験推進事業について

次に、障がい児者の学び・体験推進事業についてであります  
が、国が実施する「障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業」のモデル指定を  
受け、障がい児者の学習支援に関する3年間の実践研究に取り組んでい  
るところであります。

今後、関係機関・団体や市内の高等教育機関等との連携による新たな取  
組を通して、障がい児者の生涯学習機会を創出するとともに、市民の理解  
を深め、共生社会の実現に努めてまいりたいと考えております。

#### 4 スポーツアカデミー事業「ダンチャレ！！」について

次に、スポーツアカデミー事業「ダンチャレ！！」についてであります  
が、北海道日本ハムファイターズとの連携事業の一環として、試合中、フ  
ァイターズを子どもたちのダンスで応援する事業を実施したところであ  
ります。

この事業は、スポーツに親しむきっかけづくりと、目標に向かい努力す  
る大切さや目標を達成する喜びを体感させることを目的に実施したもの  
であり、10月3日、札幌ドームで行われた埼玉西武ライオンズ戦の中盤、  
市内の小学生99名が、ファイターズガールや事前のダンス指導に協力を  
頂いた星槎道都大学ダンス部の皆さんとともに、グラウンドでYMC  
Aダンスを披露したところでもあります。

#### 5 第42回読書まつりについて

次に、第42回読書まつりについてであります。10月13日から  
17日までの間、北広島市図書館フィールドネット運営委員会との共催  
より開催したところでもあります。

今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、芸術  
文化ホールギャラリーにおいて市民から応募いただいた創作詩28点及  
び図書館ボランティア団体の活動紹介を展示したところでもあります。

また、図書館内においても感染症対策を徹底したうえで、ボランティア  
による本の読み聞かせを行ったところであり、期間中、2,500名を超  
える方々に来場いただいたところでもあります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。